

# 平成25年度標茶町上水道事業会計決算審査意見

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成25年度標茶町上水道事業会計決算

### 2 審査の期日

平成26年6月25日

### 3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 剰余金処分計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

### 4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成26年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

### 1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

## (1) 収益的収入及び支出について

## 収益的収支の状況

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	執行率(%)		予算額に比べ決算額 の増減及び不用額	
			H25年度	H24年度		
収 入	営業収益	74,990,000	(71,253,230) 67,915,750	(95.0) 90.6	(97.2) 92.6	(△ 3,736,770) △ 7,074,250
	給水収益	71,300,000	(70,087,080) 66,749,600	(98.3) 93.6	(100.7) 95.9	(△ 1,212,920) △ 4,550,400
	受託工事収益	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(△ 2,550,000) △ 2,550,000
	一般会計負担金	900,000	(900,000) 900,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	その他営業収益	240,000	(266,150) 266,150	(110.9) 110.9	(92.1) 92.1	(26,150) 26,150
	営業外収益	21,097,000	(21,053,720) 21,026,505	(99.8) 99.7	(100.1) 100.0	(△ 43,280) △ 70,495
	受取利息及び配当金	10,000	(2,513) 2,513	(25.1) 25.1	(8.3) 8.3	(△ 7,487) △ 7,487
	他会計負担金	20,477,000	(20,477,000) 20,477,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	雑収益	610,000	(574,207) 546,992	(94.1) 89.7	(107.8) 103.1	(△ 35,793) △ 63,008
	収入合計	96,087,000	(92,306,950) 88,942,255	(96.1) 92.6	(97.8) 94.3	(△ 3,780,050) (△ 7,144,745)
支 出	営業費用	83,110,000	(74,139,654) 73,561,409	(89.2) 88.5	(89.3) 88.6	(8,970,346) 9,548,591
	配水及び給水費	43,230,000	(36,908,684) 36,330,439	(85.4) 84.0	(85.4) 84.2	(6,321,316) 6,899,561
	受託工事費	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	減価償却費	33,361,000	(33,359,349) 33,359,349	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,651) 1,651
	資産減耗費	3,969,000	(3,871,621) 3,871,621	(97.5) 97.5	(96.2) 96.2	(97,379) 97,379
	営業外費用	11,586,000	(11,356,342) 9,910,642	(98.0) 85.5	(98.6) 86.7	(229,658) (1,675,358)
	支払利息及び企業債取扱諸費	9,916,000	(9,826,222) 9,826,222	(99.1) 99.1	(99.3) 99.3	(89,778) 89,778
	消費税及び地方消費税	1,470,000	(1,445,700) 0	(98.3) 0.0	(99.0) 0.0	(24,300) 1,470,000
	雑支出	200,000	(84,420) 84,420	(42.2) 42.2	(55.5) 55.5	(115,580) 115,580
	予備費	50,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50,000) (50,000)
支出合計	94,746,000	(85,495,996) 83,472,051	(90.2) 88.1	(90.4) 88.3	(9,250,004) (11,273,949)	
(差引額) 当年度純利益	—	(6,810,954) 5,470,204	—	—	—	

&lt;注&gt;：上段（ ）内の数値並びに割合は消費税込みで表示

本年度の予算執行状況は、収入合計92,306,950円で予算額96,087,000円に対し3,780,050円の減、収入率は96.1%となっている。これは主に営業収益のうち給水収益で1,212,920円、受託工事収益で2,550,000円の減であったことによる。

支出については、決算額85,495,996円で予算額94,746,000円に対し執行率は90.2%、不用額は9,250,004円となった。これは主に営業費用の配水及び給水費で修繕費の発生が少なかったこと及び受託工事費が発生しなかったことが大きな要因であった。なお、支出の予算額は、営業費用で9,000円、営業外費用で50,000円が増額補正されている。

以上の結果、収入支出決算額は、差引額で収入額が支出額を6,810,954円上回っている。

## (2) 資本的収入及び支出

### 資本的収支の状況

(単位:円・%)

区 分		予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額
				H25年度	H24年度	
収 入	企業債	8,000,000	(8,000,000) 8,000,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	収入合計	8,000,000	(8,000,000) 8,000,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) (0)
支 出	企業債償還金	24,057,000	(24,056,013) 24,056,013	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(987) 987
	建設改良費	28,199,000	(28,198,422) 26,857,672	(100.0) 95.2	(100.0) 95.2	(578) 1,341,328
	支出合計	52,256,000	(52,254,435) 50,913,685	(100.0) 97.4	(100.0) 97.3	(1,565) 1,342,315
差引額		—	(△ 44,254,435) △ 42,913,685	—	—	—

<注>: 上段( )内の数値並びに割合は消費税込みで表示

収入については、予算額8,000,000円で、決算額も同額の8,000,000円となっている。

支出については、予算額52,256,000円で、決算額は、企業債償還金24,056,013円、建設改良費は、28,198,422円となっている。

本年度決算においては、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額44,254,435円を、過年度分損益勘定留保資金24,048,964円、減債積立金処分額18,864,721円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,340,750円で補填している。

## (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条第1項に規定する予算に係る主な事項の執行状況は、次のとおりである。

### ア 企業債

本年度総額8,000,000円の企業債が発行されたが、目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲内で執行されている。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、職員給与費

21,772,828円、交際費は支出はなく、いずれも予算の範囲内で執行されている。  
 ウ 他会計からの負担金

負担金決算額は、一般会計から15,676,000円、下水道事業特別会計から4,801,000円の合計20,477,000円で予算額と同額であった。

## 2 経営状況

### 経営成績及び主な利益指標の推移

(単位：円・%)

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
<b>総収益</b>	<b>88,942,255</b>	<b>89,833,156</b>	<b>90,789,211</b>	<b>90,231,313</b>
うち営業収益	67,915,750	68,824,583	68,757,457	68,417,305
<b>総費用</b>	<b>83,472,051</b>	<b>82,893,845</b>	<b>86,868,213</b>	<b>86,197,823</b>
うち営業費用	73,561,409	72,455,423	76,010,583	75,999,012
当年度純利益	5,470,204	6,939,311	3,920,998	4,033,490
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金	5,470,204	6,939,311	3,920,998	4,033,490
経常収支比率	<b>106.6</b>	<b>108.4</b>	<b>104.5</b>	<b>104.7</b>
営業収支比率	<b>92.3</b>	<b>95.0</b>	<b>90.5</b>	<b>90.0</b>
総資本利益率	<b>0.6</b>	<b>0.7</b>	<b>0.4</b>	<b>0.5</b>

<注> 1. 営業収支比率については、営業収益・費用のうち受託工事に係る収益・費用を除いて算出している

2. 総資本利益率=純利益/(期首総資本+期末総資本)×1/2

本年度の経営状況（損益計算書に基づき記述・図表の数値は消費税抜きで表示）は、総収益88,942,255円、総費用83,472,051円で、差引5,470,204円の純利益が計上されている。営業収支は、営業収益67,915,750円に対し営業費用73,561,409円であり、差引5,645,659円営業費用が上回っている。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は890,901円の減少、総費用は578,206円の増加となっており、純利益5,470,204円は前年度（6,939,311円）に比し1,469,107円の減少となっている。

#### (1) 収益

本年度の総収益は88,942,255円で、前年度に比し890,901円の減少となっている。このうち営業収益は、総収益の75.0%を占める給水収益が66,749,600円で、前年度に比し953,933円減少している。受託工事収益については今年度も0円となっている。営業外収益は、21,026,505円で前年度に比し17,932円の増加となっているが、これは他会計負担金の増加と雑収益の減少によるものである。

## 収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成25年度 (A)		平成24年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年
<b>営業収益</b>	<b>67,915,750</b>	<b>76.4</b>	<b>68,824,583</b>	<b>76.6</b>	<b>△ 908,833</b>	<b>98.7</b>
給水収益	66,749,600	75.0	67,703,533	75.4	△ 953,933	98.6
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
一般会計負担金	900,000	1.0	900,000	1.0	0	100.0
その他営業収益	266,150	0.3	221,050	0.2	45,100	120.4
<b>営業外収益</b>	<b>21,026,505</b>	<b>23.6</b>	<b>21,008,573</b>	<b>23.4</b>	<b>17,932</b>	<b>100.1</b>
受取利息及び配当金	2,513	0.0	2,493	0.0	20	100.8
他会計負担金	20,477,000	23.0	20,398,000	22.7	79,000	100.4
消費税・地方消費税還付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
雑収益	546,992	0.6	608,080	0.7	△ 61,088	90.0
<b>総収益</b>	<b>88,942,255</b>	<b>100.0</b>	<b>89,833,156</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 890,901</b>	<b>99.0</b>

(金額は消費税抜き)

## (2) 費用

本年度の費用総額は83,472,051円で、前年度に比し578,206円増加している。このうち営業費用は、配水及び給水費と資産減耗費が前年度に比べ増加、減価償却費が減少しており、営業費用総額では1,105,986円増加している。営業外費用は前年度に比べ527,780円減少し、9,910,642円となっている。

## 費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成25年度 (A)		平成24年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年
<b>営業費用</b>	<b>73,561,409</b>	<b>88.1</b>	<b>72,455,423</b>	<b>87.4</b>	<b>1,105,986</b>	<b>101.5</b>
配水及び給水費	36,330,439	43.5	35,176,462	42.4	1,153,977	103.3
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
減価償却費	33,359,349	40.0	33,497,606	40.4	△ 138,257	99.6
資産減耗費	3,871,621	4.6	3,781,355	4.6	90,266	102.4
<b>営業外費用</b>	<b>9,910,642</b>	<b>11.9</b>	<b>10,438,422</b>	<b>12.6</b>	<b>△ 527,780</b>	<b>94.9</b>
支払利息及び企業	9,826,222	11.8	10,327,482	12.5	△ 501,260	95.1
雑支出	84,420	0.1	110,940	0.1	△ 26,520	76.1
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
<b>総費用</b>	<b>83,472,051</b>	<b>100.0</b>	<b>82,893,845</b>	<b>100.0</b>	<b>578,206</b>	<b>100.7</b>

(金額は消費税抜き)

## (3) 給水原価並びに供給単価等の推移

上水道事業に係る有収水量、給水原価並びに供給単価等は次のとおりとなっている。年間有収水量は426,856m<sup>3</sup>で前年度より8,523m<sup>3</sup>減少している。

給水原価は195円55銭で前年度より5円15銭の増、供給単価は156円38銭で前年度より87銭の増となっている。また、給水原価と供給単価の差は39円17銭で、前年度より4円28銭増加している。

区 分	単位	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	差引 (A) - (B)	平成23年度	平成22年度
計画人口	人	5,020	5,020	0	5,020	5,020
給水戸数	戸	2,183	2,194	△ 11	2,185	2,178
給水人口	人	4,373	4,449	△ 76	4,552	4,568
年間配水量	m <sup>3</sup>	628,562	617,337	11,225	636,374	493,823
年間有収水量	m <sup>3</sup>	426,856	435,379	△ 8,523	434,630	433,050
給水収益	円	66,749,600	67,703,533	△ 953,933	67,495,257	67,279,705
ア 給水原価		195円55銭	190円40銭	5円15銭	199円87銭	199円05銭
イ 供給単価		156円38銭	155円51銭	87銭	155円29銭	155円36銭
差額 アーイ		39円17銭	34円89銭	4円28銭	44円58銭	43円69銭

<注> ・給水原価 = (総費用 - 受託工事費) / 有収水量 (金額は消費税抜き)  
 ・供給単価 = 給水収益 / 年間有収水量

#### (4) 配水量及び有収水量

(単位: m<sup>3</sup>・%)

区 分	総配水量 (A)	減少要因		配水量 (A) - (B) - (C) = (D)	不明漏水 (E)	有収水量 (D) - (E) = (F)	有収率 (F) / (D)
		消防使用分 (B)	その他 (C)				
平成25年度	632,706	236	3,908	628,562	201,706	426,856	67.9
平成24年度	620,541	319	2,885	617,337	181,958	435,379	70.5
対前年度	12,165	△ 83	1,023	11,225	19,748	△ 8,523	△ 2.6

### 3 財政状況

本年度の財政状況を貸借対照表及び資料に基づき示すと次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示)

#### <資産>

当年度末資産合計は、984,119,855円で前年度末(994,430,874円)より10,311,019円の減少となっている。

固定資産は745,337,043円で、前年度(755,807,634円)に比し10,470,591円減少している。内訳は、有形固定資産が741,054,239円で前年度(750,989,551円)より9,935,312円減少し、無形固定資産が4,282,804円で前年度(4,818,083円)より535,279円減少している。

流動資産は238,782,812円で、前年度(238,623,240円)に比し159,572円増加している。内訳は、現金預金が231,951,132円で前年度(231,052,646円)に比し898,486円増加し、未収金は水道使用料6,831,680円で、前年度(7,570,594円)より738,914円減少している。

## 水道使用料の収納状況

(単位：円、件、%)

区分	平成25年度				平成24年度				対前年度増減	
	調定額	収納額	収納率	不納欠損額	未収状況		未収状況		件数	金額
					件数	金額	件数	金額		
現年度分	70,087,080	69,346,680	98.9		361	740,400	377	881,830	△ 16	△ 141,430
滞納繰越分	6,998,150	828,450	11.8	84,420	2,257	6,085,280	2,354	6,116,320	△ 97	△ 31,040
合計	77,085,230	70,175,130	91.0	84,420	2,618	6,825,680	2,731	6,998,150	△ 113	△ 172,470

(金額には消費税が含まれている)

水道使用料の未収額は、現年度分と滞納繰越分を合わせると6,825,680円となっており、前年度(6,998,150円)より172,470円減少している。

不納欠損処分をしたものは59件84,420円(1個人、1法人)で、いずれも消滅時効の完成によるものである。内訳は、納入義務者死亡が58件、法人の倒産が1件であった。

### <負債>

負債は32,719,672円で前年度(32,347,589円)に比し372,083円の増加となっている。内訳は、固定負債は修繕引当金30,197,341円で前年度と同額となっているが、流動負債は未払金、前受金及び預り金の合計2,522,331円で、前年度より372,083円増加している。

### <資本>

資本金は895,455,055円で前年度(892,646,347円)に比し2,808,708円の増加となっている。内訳は、自己資本金が453,501,384円で前年度(434,636,663円)より18,864,721円増加し、借入資本金の一般会計借入金が218,110,000円で前年度(230,940,000円)より12,830,000円減少、企業債が223,843,671円で前年度(227,069,684円)より3,226,013円減少している。

### <剰余金>

剰余金は55,945,128円で前年度(69,436,938円)に比し13,491,810円の減少となっている。内訳は、資本剰余金が38,474,924円で前年度(38,572,217円)より97,293円減少し、利益剰余金が17,470,204円で前年度(30,864,721円)より13,394,517円減少している。

当年度利益剰余金(当年度純利益)5,470,204円は減債積立金として処分され、資本的収入の不足分として補填された18,864,721円を差し引き、減債積立金の当年度末残高は0円となっている。

## むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べて参りましたが、総括して次のとおり審査意見を申し上げます。

平成25年度上水道事業は、生活用水その他の浄水を町民に提供するため、給水戸数2,183戸（前年度2,194戸）、年間有収水量426,856 $\text{m}^3$ （前年度435,379 $\text{m}^3$ ）でいずれも前年度より減少したが、年間配水量628,562 $\text{m}^3$ （前年度617,337 $\text{m}^3$ ）は、前年度より1.8%増加した水需要構成の状況で運営され、配水管総延長は49.9km（導水管1.2km 配水管48.7km）となった。

本事業会計に属する職員は、平成26年3月31日現在5名（町長部局併任発令2名）で、他会計の業務を兼務し、その業務割合に応じ一般会計から15,676,000円（前年度15,492,000円）の負担金を受けている。

経営成績は、総収益88,942,255円、総費用は83,472,051円の決算額で差引き5,470,204円（前年度6,939,311円）の純利益を生じ減債積立金として処分された。

財政状況は、資産総額984,119,855円で、前年度と比較して10,311,019円の減少となっている。

なお、企業債償還金の財源である減債積立金については、今年度償還額の一部充当をもって財源が皆減となり、今後においては、内部留保資金による償還となることから、経営に与える影響を勘案しつつ健全な運営に努められたい。

当年度の資本的収支の総額は52,254,435円で執行されており、この資金は企業債の発行で8,000,000円を調達し、不足する44,254,435円は、過年度分損益勘定留保資金24,048,964円、減債積立金18,864,721円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,340,750円で補填されております。

また、企業債の当年度末未償還残高は、223,843,671円（うち当該年度借入金8,000,000円）で計画的に起債償還が行われています。

水道使用料の未収金については、現年度分、滞納繰越分それぞれについて収納対策の効果が見られ、当年度は6,825,680円で前年度より172,470円減少しているが、今後も収納対策に努力をされたい。

併せて、今年度は不明漏水が多く有収率も67.9%（前年度70.5%）であり、原因の究明及び対策に努められたい。

上水道事業経営は、給水人口の影響が大きく、当年度の給水人口は4,373人（前年度4,449人）で、前年度から76人減少しており、また、計画人口5,020人に対するの普及率は、87.1%であり、今後も人口の減少や水資源の確保問題などから、給水収益は年々減少するものと予測されるが、安全で安定した水道水の供給のため、引き続き、的確な水需要の予測、使用料の収納対策、効果的な事業の執行による健全な経営、財政基盤の安定を図るとともに、公営企業として住民生活及び生産活動などの公共の福祉の増進が図られるよう努められたい。